

区自治協議会会長会議で整理したコロナ禍における課題

1 趣 旨

区自治協議会会長会議で3つに絞った下記のコロナ禍における研究課題について、各区自治協議会でその解決策等を検討し、再度、会長会議に持ち寄った結果を今期の振り返り資料に盛り込み、第8期への引継ぎの一つとするもの。

2 コロナ禍における課題

(1) 会議の開催方法、それによる新たな体制・運営の確立について

会議をオンライン開催し、リモート出席を可能とすることはできないか（機運の視点も含む）。あるいは、そういう形で会議をすることで、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するだけでなく、何か新しい体制・運営を確立することはできないか。

(2) 区自治協議会提案事業のあり方について

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度、事業が実施できていないが、年度後半での実施の可能性及び、来年度以降の「with コロナ」時代に対応した区自治協議会提案事業のあり方について検討する。

(3) 防災強化に向けた、自治協議会の役割について

台風シーズンを迎えるが、新型コロナウイルス感染症により、各地域の縦・横のつながりが分断されている状況下で、自治協議会の人と人をつなげ、地域と行政、各種団体等を結ぶ役割は大きいと考えられる。

有事に備え、防災強化（防災士等の人材育成、区民の意識の啓発など）について、自治協議会としてどのように検討し取り組んでいけるか。

令和2年8月21日
市民協働課資料を基に作成